

(様式例)

30年度事業報告書

30年 04月 01日から 31年 03月 31日まで

(特定非営利活動法人鳥すぼnet)

1 事業の成果

県内外で行われた、スポーツ団体の試合結果・試合風景・選手等のコメントなどをPC・モバイル用のホームページに簡単にアップさせ、迅速、かつ、たくさんのスポーツ団体の情報を提供することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 鳥すぼ NEWS 事業

事業内容 鳥取県東部・中部・西部の小学生・中学生のクラブ紹介
小学1年生から中学3年生
を作成し県教育委員会協力のもと配布した。

実施日時 年3回(春・夏・冬)

実施場所 配布先 県内の小学校 中学校

従事者の人数 10人

受益対象者の範囲及び人数 60,000人

支出額 100,000円

(2) 事業名 インターハイ新聞事業

事業内容 高体連協力の下、インターハイ体新聞を発刊
8000部東部の高等学校に県教育委員会協力のもと配布した。

実施日時 7月

実施場所

従事者の人数 5人

受益対象者の範囲及び人数 8000人

支出額 50,000円

(様式例)

30年度 (特定非営利活動法人鳥すばnet) 会計財産目録

(特定非営利活動法人鳥すばnet)

科 目		金 額 (単位:円)	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	8,442	
普通預金	山陰合同銀行鳥取営業部	0	
未収会費		0	
.....	0	
.....	0	
流動資産合計			8,442
2 固定資産			
土地		0	
利付国債		0	
.....	0	
.....	0	
固定資産合計			0
資産合計			8,442
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金 山陰合同銀行鳥取営業部		0	
預り金	職員に対する源泉所得税	0	
.....	0	
.....	0	
流動負債合計			0
2 固定負債			
長期借入金 山陰合同銀行鳥取営業部		0	
退職給与引当金		0	
.....	0	
.....	0	
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			8,442

(備考)

(①) の部分には、財産目録を会計区分ごとに作成する場合には、「特定非営利活動に係る事業」及び「その他の事業」と記載し、それぞれ区分して別業として作成する。

(様式例)

30年度 (特定非営利活動法人鳥すぽnet) 会計貸借対照表

(特定非営利活動法人鳥すぽnet)

科 目	金 額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	8,442		
未収金	0		
.....	0		
流動資産合計		8,442	
2 固定資産			
建物	0		
車輛運搬具	0		
.....	0		
固定資産合計		0	
資産合計			8,442
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	0		
.....	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給与引当金	0		
.....	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	1,466	✓	
当期正味財産増加額 (減少額)	6,976	✓	0
正味財産合計			8,442
負債及び正味財産合計			8,442

(備考)

(①) の部分には、財産目録を会計区分ごとに作成する場合には、「特定非営利活動に係る事業」及び「その他の事業」と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。

(様式例)

30年度 (特定非営利活動法人鳥すばnet) 会計収支計算書

30年 4月 1日から31年 3月31日まで

(特定非営利活動法人鳥すばnet)

科 目	金 額 (単位: 円)	
I 収入の部		
1 会費・入会金収入		
個人会員	45,000	
法人会員・協賛金	300,000	345,000 /
2 事業収入	0	0
4	0	0
当期収入合計		345,000 /
前期繰越収支差額		1,466 /
収支合計 (B)		346,466 /
II 支出の部		
1 事業費		
鳥すばNEWS事業	100,000	
インターハイ新聞事業	50,000	150,000 /
2 管理費		
サーバー管理費	75,000	
.	0	75,000 /
3 その他		
ガソリン費	113,024	113,024 /
4 予備費		0
当期支出合計		338,024 /
当期収支差額		8,442 /
次期繰越収支差額		8,442 /

6.976
修正係数中

(備考)

- 1 設立当初の事業年度及び翌事業年度の収支予算書はそれぞれ別に作成する。
- 2 (①) の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別表として作成する。
- 3 その他の事業を行う場合は、その他の事業会計収支予算書及び特定非営利活動に係る事業会計収支予算書について、その他の事業会計から特定非営利活動に係る事業会計への繰出繰入が明らかになるような科目を追加する。
- 4 設立時の資金がある場合は、設立当初の事業年度に設立時有高としてその額を記載する。
- 5 翌事業年度は、前年度の収支予算書に次期繰越収支差額として掲げた額を、前期繰越収支差額として記載する。
- 6 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類ごとに区分して記載する。(当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。)

(様式例)

役員名簿

特定非営利活動法人鳥すぽnet

役名	氏名	住所又は居所	報酬の有無
理事長	朝野 和隆		無
副理事長	西尾 達也		無
理事	山本 哲也		無
理事	竹中 鋭明		無
監事	小西 秀明		無

(様式例)

社員のうち10人以上の者の名簿

特定非営利活動法人鳥すぼnet

氏 名	住 所 又 は 居 所
朝野 和隆	
西尾 達也	
山本 哲也	
竹中 鋭明	
小西 秀明	
石破 宏朗	
岡本 道	
定久 千秋	
椋田 智	
三谷 健吾	